

平成 24 年（2012 年）の羅臼岳の火山活動

札幌管区気象台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しました。

○2012 年の活動概況

・火口や噴気の状況（図 1～2）

6 月 26 日に実施した上空からの観測（国土交通省北海道開発局の協力による）では、山頂付近に噴気や地熱域¹⁾は認められませんでした。

1) 赤外熱映像装置による。赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を感じて温度や温度分布を測定する計器で、熱源から離れた場所から測定できる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

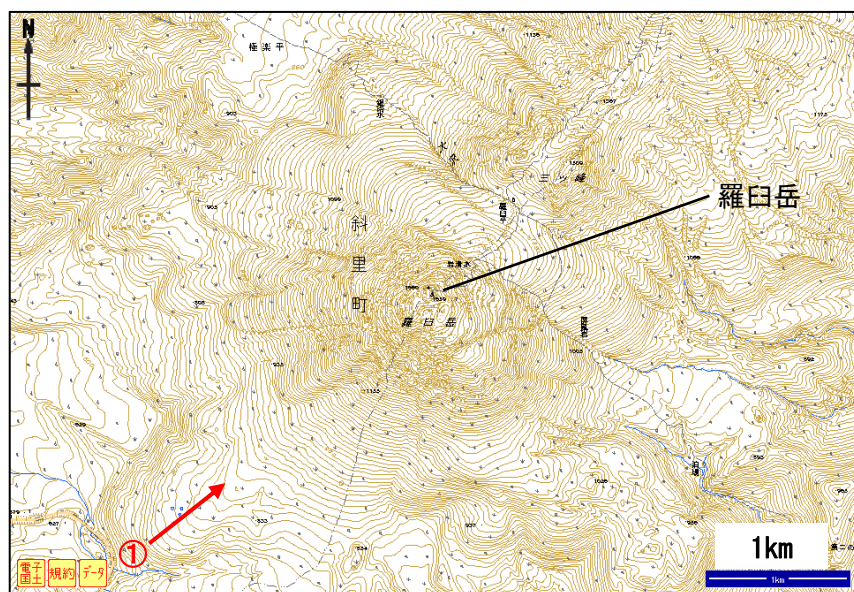


図 1 羅臼岳 周辺図と赤外熱映像及び写真の撮影方向（矢印）

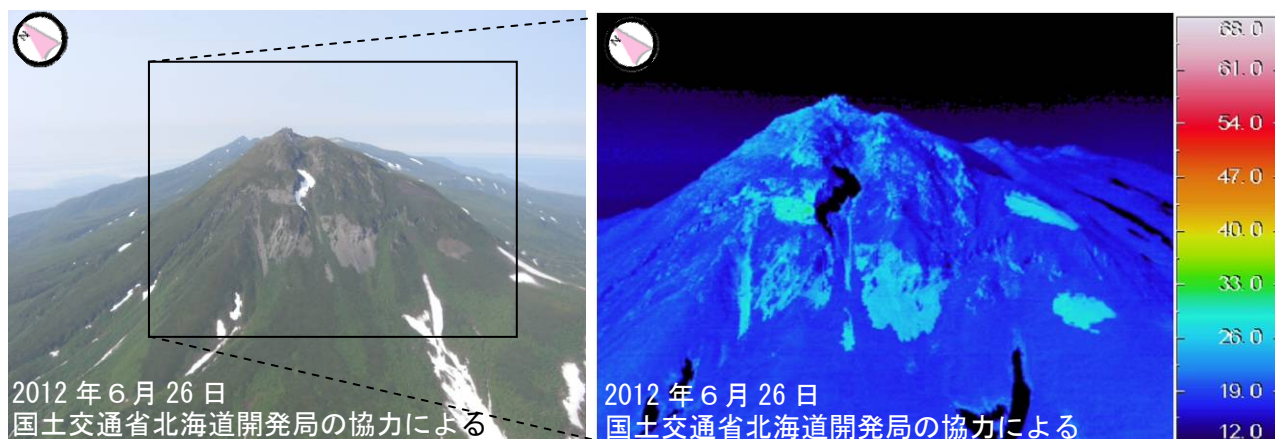


図 2 羅臼岳 山頂付近の地表面温度分布¹⁾
南西側上空（図 1-①の矢印方向）から撮影

この資料は札幌管区気象台のホームページ (<http://www.jma-net.go.jp/sapporo/>) や気象庁のホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。